

平成27年度 第1回櫛引地域地区公民館運営審議会記録(概要)

日時：平成27年6月25日(木)

18:30~20:00

場所：櫛引公民館講座室

<出席者> (7名)

委員：齋藤明夫委員、兼子由香委員、小島英敏委員、齋藤ゆう子委員、
成田進委員、難波正喜委員、菅原勝委員

事務局：櫛引庁舎総務企画課長補佐 前森淳子(課長兼教育主幹代理出席)、
(併)公民館専門員 長谷川勝彦、
(併)専門員 板垣舞子、(併)専門員 菅原源太郎、
(併)櫻田康子 ※委員名簿順、(併)は社会教育課併任

<欠席者> (6名)

委員：瀬川幸子委員、齋藤豊委員、後藤淳委員、今野慎太郎委員、
佐久間忠勝委員、金内一恵委員

<公開・非公開> 公開

<傍聴者> なし

<会議内容>

1. 開会 長谷川

2. あいさつ 櫛引庁舎総務企画課長補佐(教育主幹代理出席)

3. 協議

(1) 平成26年度櫛引公民館関係事業の内容と平成27年度の計画について

・放課後子ども教室について、学校で職員に現状を説明した。子どもを通して保護者に登録の依頼もしている。(委員)

・一度帰宅してから来るため、子どもは他の友達と一緒に連れてくる。結果、登録されていない子も来ることになる。(委員)

→活動者数は多いが、登録されていない子がいる。会費を納めて教室に来てもらうよう周知のチラシを配布しお願いをした。当初は、登録児童数が25人であった。この時点では農園の予算を組めなかったが、今日現在27人となり、農園使用料を確保できた。推進員と話し合っ、農園を借りる方向で検討中。(公民館)

・市民学習促進事業の自主サークル活動の支援について、事業計画の欄に『会員の固定具合』とあるが、どういう意味か。(委員)

→複数年続いている講座だと、毎回申し込む人がいて、顔ぶれが一緒になる。それを支援講座に移行するという事です。(公民館)

・実習室の食器棚のガラス戸の開閉に不具合が生じている。予算要求をして、直してもらいたい。(委員)

→利用に支障を来すことなので、早急に専門業者から見てもらい修繕等対応する。(公民館)

・サークルのメンバーが固定すると、新しい人が入ろうと思っても差がついて入るのが大変。同じような分野で初心者向けのサークルを作るという対応はできないか。(委員)

→たとえば、入会希望者には各団体のレベルを把握してもらうため、文化祭を一度見ていただく等のことをお勧めしている。「趣味の講座」などで初心者コースを設けることも前向きに検討したい。(公民館)

・私のサークルにも新しい人が入ってくる。「趣味の講座」は新しい人が受講しやすいよう促す目的なのか、新しいサークルを立ち上げる手助けをするものなのか。(委員)

→募集では間口を広げて受講者を募っているが、ただ人数だけ増えればいいという訳ではない。初心者も受けやすい講座とサークル作りを目指す講座、これらの講座の編成をバランスよくやっていきたい。(公民館)

・館独自の広報は作っているか。前は青少年関係で年度末に1回出していたように思う。各事業は全戸配布チラシがきて、趣味の講座や文化祭は見に来れば活動内容はわかる。ただし、それだけでは、地域の人が知らないまま終わることもあるのではないか。(委員)

→楡引地域には全戸配布チラシもできるし、ケーブルテレビという他の地域にはないメディアがあり、また、市ホームページなどでも周知ができる。それらの媒体を活用して広くPRしていきたい。(公民館)

・視聴覚について16ミリフィルムは借用可能か。前は資格のようなものが必要だったが。(委員)

→16ミリはフィルム1本何十万円もする高価なものだったので、旧14市町村が共同で設立した庄内ライブラリーから借りるには、映写機を使用する人が資格を必要とした。現在は不要となっている。公民館にフィルムの一覧があるので、利用団体向け等、ぜひ相談に来ていただき、活用してもらいたい。(公民館)

・地域で活動するとき、DVDを借りてみることはよくある。16ミリフィルムも貸し出しが可能ということで、これから活用していきたい。(委員)

・ 出前講座を活用すれば公民館で出向いてきてくれる。(委員)

→DVDしか知らない今の子どもたちにも、昔の16ミリのアニメーションや映写機で上映する独特の映像や雰囲気も体験してもらいたい。出前講座に申し込めば、公民館で出向いて上映する。多くの地域から利用していただきたい。(公民館)

(2) その他

特になし

4. 閉会